

平成21年度「石狩市教育委員会外部評価委員会」会議録

日 時 平成22年1月12日(火) 10:00～

会 場 石狩市役所 401会議室

出席者(3名)

氏 名	役職等	備 考
村瀬 千櫻	北海道教育大学 教育免許状更新講習アドバイザー	委員長
木村 純	北海道大学 高等教育機能開発総合センター教授	
田中 好之	石狩市退職校長会 副会長	副委員長

事務局(3名)

氏 名	役職等	備 考
東 信也	地域教育推進室 参事	
吉田 雅人	地域教育推進室 主査	
菊池 拓	地域教育推進室 主任	

1. 開会挨拶

2. 開 会

(1) 委員自己紹介

(2) 議事

委員長・副委員長の選出

平成20年度石狩市教育委員会点検・評価報告書案に対する意見の

取りまとめについて

(3) その他

会議録内容補足

外部評価委員会の円滑な議事運行を図るため、事前に「平成20年度 教育委員会の点検・評価報告書(素案)」を各委員に提示・説明を行っており、それを踏まえ、今回の会議において各委員が意見の集約を行った。

①委員長・副委員長の選出

・事務局

委員長・副委員長の選出に入りたいと思います。

外部評価委員会設置要綱第4条2項で、委員長は、委員の互選によりこれを定めるとなっております。よろしくご審議をお願いしたいと思います。

・田中委員

何か事務局で腹案はありますか。

・事務局

事務局のほうでは、村瀬委員をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(一同了承)

ありがとうございます。それでは村瀬委員長お願いいたします。

それでは、早速ですが、議事を委員長をお願いしたいと思います。

・村瀬委員長

ただいま、委員長を仰せつかった村瀬でございます。よろしくお願いします。

今は、全てに渡って評価制度が浸透してしまっていて、教育委員会も必要に迫られたのではないかと思います。

それでは、議事に移りたいと思いますが、先ほど事務局からご説明のあった要綱第4条第3項で、副委員長は、委員の内から委員長が指名するとありますので、田中委員にお願いしたいのですがいかがでしょうか。

(了承)

それでは、よろしくお願いします。

②平成20年度石狩市教育委員会点検・評価報告書案に対する意見の取りまとめについて

・村瀬委員長

議題にそって進めたいと思います。平成20年度の石狩市教育委員会点検・評価報告書案に対する意見の取りまとめということで、事務局よりご説明していただきたいと思っております。

・事務局

(報告書案についての概略説明)

・村瀬委員長

ありがとうございました。いま、最後にお話しいただいたように、66ページ以降の7項目について3人の意見を取りまとめるということですね。

事前に報告書が提示されて、それぞれの委員のお考えがあると思いますので、3人の意見をまとめていきたいと思っております。

それでは、1項目ずつ進めていきたいと思っております。

1 教育委員会会議等の活動状況に関する点検及び評価について

・村瀬委員長

それでは、各委員に意見を発表していただきたいと思います。

開催状況について（回数・案件・審議内容等）

木村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議は、法令等の改定の時期において、定例会 12 回、臨時会 4 回の計 18 回開催されており、評価できる。 ・案件、審議内容は、議決案件 33 件に上るなど多岐に渡り質疑応答が行われている。
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・数多い案件の処理が行なわれ、協議が行なわれ、報告事項の理解、承認など教育委員会の職員の多忙さと重大さを改めて知り評価した。
村瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議については、定例会議を毎月 12 回、また必要に応じ 4 回の計 16 回開催するとともに、会議以外に事務局と施策に関する勉強会も随時実施するなど評価できる。 ・案件や審議内容等も法律や規則には則り、審議事項 37 件、事務局報告事項 33 件行い、内容も多岐にわたっており評価できる。

今後の会議のあり方について（回数・方式・案件内容等）

木村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・回数や方式など特段の改善点はなく、生徒の生活アンケートについての調査結果などが報告され議論するなど、石狩市の児童・生徒の実態にもとづく議論が今後期待される。
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の会議の内容で可能で必要と思われるものは、広く公開し、地域に知ってもらう事も大切だと思う。 ・「自分を見つめる」アンケート調査の考え方や学力・学習状況調査への評価や認識は公にして欲しいと考える。
村瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の会議のあり方に関しては、特段の改善点はなく、これからの活動の一層の充実を期待する。

（上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。）

1 教育委員会会議等の活動状況に関する点検及び評価

開催状況について（回数・案件・審議内容等）	
<p>教育委員会会議は、定例会 12 回、臨時会 4 回の計 16 回開催されており、評価できる。</p> <p>案件、審議内容は、議決案件 33 件に上るなど多岐に渡り質疑応答が行われており評価できる。</p>	
今後の会議のあり方について（回数・方式・案件内容等）	
<p>回数や方式など特段の改善点はなく、石狩市の児童・生徒の実態にもとづく議論が今後期待される。</p> <p>また、それらを含め公開できるものについては、地域に知ってもらうことも大切だと考える。</p>	

2 教育委員会会議以外の主な活動状況について

・村瀬委員長

それでは、各委員に意見を発表していただきたいと思います。

活動状況について（回数・活動内容等）

木村委員	・教育委員会以外の活動については、市民への情報発信活動や市民や関係団体との意見交換等の活動、教育委員の資質の向上を図る活動が積極的に取り組まれている様子がうかがわれ評価できる。
田中委員	・学校訪問や施設訪問の回数が多く、よく活動されている様子がうかがえる。
村瀬委員	・教育委員会会議以外の主な活動については、市民への様々な情報発信活動や関係団体との意見交換等が活発に行なわれており、積極的な姿勢が見られ評価できる。

今後の会議のあり方について（回数・方式・活動内容等）

木村委員	・回数・方式・活動内容とも、今後も継続することが望ましい。市民と児童・生徒の実態について意見を交流する機会を今後も積極的に設けることが期待され、それが教育委員の資質の向上にもつながると思われる。
田中委員	・現場の教職員の状況や児童・生徒の実態を具体的に的確にとらえ、それを委員としての立場から支えていく活動が必要ではないか。
村瀬委員	・案件・内容等に関して、石狩市内の小中学校の学校経営の取り組みの状況や児童生徒の学力・体力等の実態にかかわる意見交流の機会を設けるなど、より教育現場と共通理解に立った活動が望まれる。

（上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。）

2 教育委員会会議以外の主な活動状況について

活動状況について（回数・活動内容等）

教育委員会以外の活動については、市民への情報発信活動や市民や関係団体との意見交換等の活動、教育委員の資質の向上を図る活動が積極的に取り組まれている様子がうかがわれ評価できる。

今後の活動のあり方について（回数・方式・活動内容等）

回数・方式・活動内容とも、今後も継続することが望ましい。市民と児童・生徒の実態について意見を交流する機会を今後も積極的に設けることが期待される。

3 施策別の実施状況及び評価と今後の課題等

・村瀬委員長

それでは、社会で生きる実践的な力の育成について、各委員に意見を発表していただきたいと思
います。

主な取組内容について

木村委員	・ 4つの主要事業がすべて継続事業であり、いずれも成果を上げていると評価できる。
田中委員	-
村瀬委員	・ 子どもたちに実践的な力をつけるため、全中学校に外国人指導助手を派遣したり、授業の 充実のために教育用コンピュータの整備を図る取組みは評価できる。 また、学校支援事業として各学校の特色ある教育活動に関わる取組みや個に応じた指導を 行うSATなどの外部指導者の活動を支援したり、特別支援教育の充実に力を入れているこ とは評価できる。

今後の課題・方針等について

木村委員	・ さらに成果をあげるための課題が明確になっており、評価できる。
田中委員	-
村瀬委員	・ 子どもたちに「確かな学力」を育むことを課題としてあげていることは評価できるが、特 に学校・家庭・地域社会が一体となって、学力向上と体力向上、学習習慣の改善を図ること は本道の教育界の重要な課題となっており、今後、各学校がそれらに対しての課題意識を強 め、具体的な取組みを進めることが望まれる。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

社会で生きる実践的な力の育成

主な取組内容について

子どもたちに実践的な力をつけるため、全中学校に外国人指導助手を派遣したり、授業の充実のた
めに教育用コンピュータの整備を図る取組みは評価できる。

また、学校支援事業として各学校の特色ある教育活動に関わる取組みや個に応じた指導を行うSAT
などの外部指導者の活動を支援したり、特別支援教育の充実に力を入れていることは評価できる。

今後の課題・方針等について

子どもたちに「確かな学力」を育むことを課題としてあげていることは評価できるが、特に学校・
家庭・地域社会が一体となって、学力向上と体力向上、学習習慣の改善を図ることは本道の教育界の
重要な課題となっており、今後、各学校がそれらに対しての課題意識を強め、具体的な取組みを進め
ることが望まれる。

また、学校支援で外部指導者の登用を進めているが、隠れた人材はまだ豊富にいる。人材発掘のネ
ットワークに一工夫する事も期待される。

・村瀬委員長

それでは、「豊かな心」と「健やかな身体」の育成について、各委員に意見を発表していただきたいと思います。

主な取組内容について

木村委員	・ 5つの主要事業がすべて継続事業であり、いずれも成果を上げており、評価できる。
田中委員	・ 不登校児童生徒の支援は適正な方法で行なわれている様子が理解できる。 ・ スクールカウンセラーの設置も適切で有効であると思われる。 ・ 学校支援事業は現場の成功の事例などを聞き、大変評価できる。
村瀬委員	・ 中学校の体育、スポーツの振興と競技力の向上を図るとともに、沖縄県の中中学生との交流、各中学校での「総合的な学習の時間」「特色ある教育活動」に関わる取組み、「SAT」などの外部指導者の活用、不登校児童生徒やその保護者に対する指導、スクールカウンセラー設置事業など、子どもの豊かな心と身体を育成するための多角的な視点での積極的な取組みは評価できる。

今後の課題・方針等について

木村委員	・ 「ふらっとくらぶ」の不登校児童支援事業の充実や児童・生徒の体力状況の把握などが課題として明確にされており、評価できる。
田中委員	・ 不登校児童生徒の支援について近隣市町村で活動の広域化の試みが成功を収めている報告がある。本市も近隣市町村と輪を広げ、閉ざされた子どもの心を広げる方策を考えてみてはどうか。 ・ 学校支援で外部指導者の登用を進めているが、隠れた人材はまだ豊富にいる。人材発掘のネットワークに一工夫する事も必要。
村瀬委員	・ いじめ等の問題行動や不登校の児童生徒を防止するために、「心の教育」「情操教育」「豊かな感性」「コミュニケーション能力」を育む教育活動を重点的、具体的に体制整備を進めることを明示していることは評価できる。特に、体力向上を推進するための環境づくりを視点にあげていることは、近年、体力と学力向上が連動する研究成果も報じられていることから高く評価できる。 ・ 改善点としては、健康と食育の充実が叫ばれている現在、それらへの具体的な対応が求められる。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

「豊かな心」と「健やかな身体」の育成

主な取組内容について

中学校の体育、スポーツの振興と競技力の向上を図るとともに、沖縄県の中中学生との交流、各中学校での「総合的な学習の時間」「特色ある教育活動」に関わる取組み、「SAT」などの外部指導者の活用、不登校児童生徒やその保護者に対する指導、スクールカウンセラー設置事業など、子どもの豊かな心と身体を育成するための多角的な視点での積極的な取組みは評価できる。

今後の課題・方針等について

不登校児童生徒の支援については、近隣市町村と輪を広げ、学校支援や外部指導者を登用するなど、様々な方策を期待したい。

また、健康と食育の充実が叫ばれている現在、それらへの具体的な対応が求められる。

・村瀬委員長

それでは、快適な学習環境づくりと信頼される学校づくりの推進について、各委員に意見を発表していただきたいと思います。

主な取組内容について

木村委員	・ 3つの主要事業がすべて継続事業であり、いずれも成果が上がっていると評価できるが、小・中学校校舎等改修事業はいつそう確実な実施が期待される。
田中委員	・ 振興会・研修会事業に注ぐ教育委員会の力は大きいと評価する。
村瀬委員	・ 子どもの健やかな成長を図るため、教育環境を改善するとともに、教職員の専門的な知識や実践的な指導力の研修など資質向上への取組みは、信頼される学校づくりに欠くことのできないことであり評価できる。

今後の課題・方針等について

木村委員	・ とくに今後、教職員の研修はいつそう重要となるが、石教振への支援や「サマーセミナー」など課題が明確になっており評価できる。
田中委員	・ それだけに、石狩市が他に誇る教育、特色ある教育の創出について、現場に積極的に提案してはどうか。 ・ 校舎近辺にある管理職住宅は、かつて程必要性が高いとは思われない。施設の有効活用を考えてはどうか。
村瀬委員	・ 時代の急激な変化に対応する教職員の研修「サマーセミナー」を実施する方向性は評価できる。 ・ 子どもたちの安全と直結する学校施設の耐震対策の確実な実施は喫緊な問題としてその推進が強く望まれる。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

快適な学習環境づくりと信頼される学校づくりの推進

主な取組内容について
子どもの健やかな成長を図るため、教育環境を改善するとともに、教職員の専門的な知識や実践的な指導力の研修など資質向上への取組みは、信頼される学校づくりに欠くことのできないことであり評価できる。
今後の課題・方針等について
振興会・研修会事業に注ぐ教育委員会の力は大きいと評価するところだが、それだけにこれらを通して、教育現場が自ら特色ある教育活動を積極的に実践できるような支援が求められる。 また、子どもたちの安全と直結する学校施設の改修事業、特に耐震対策の確実な実施は喫緊な問題としてその推進が強く望まれる。

・村瀬委員長

それでは、地域ぐるみで子どもを守り育てる体制づくりの推進について、各委員に意見を発表していただきたいと思います。

主な取組内容について

木村委員	・とくに事業が具体化されていないので、今後の新規の事業の具体化が期待される。
田中委員	-
村瀬委員	・地域ぐるみで子どもを安全で健やかに育てるための一環として、地域教育通信を年2回発行するとともに、地域におけるあいさつ運動や子どもたちの安心、安全の取組みとして「スクールガード」「子ども110番」「声かけ運動」など様々な活動の啓発、実践に努めていることは評価できる。

今後の課題・方針等について

木村委員	・具体的な取り組みの課題が十分に明確にされていないが、市民の主体的な活動が期待される分野なので、とも関連させながら、それを支援する行政の新規事業の構築が期待される。
田中委員	-
村瀬委員	・子どもは学校・家庭・地域社会の中で育てられることから、これらが密接に連携、協力していく体制づくりが求められており、その意味で今後の課題、方針は評価できる。 特に子どもの望ましい生活習慣の定着や家庭学習などの習慣化は、家庭の意識、努力、実践がなくては成し得ず、これらの啓発、定着等学校のリーダーシップの発揮が強く求められる。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

地域ぐるみで子どもを守り育てる体制づくりの推進

主な取組内容について
地域ぐるみで子どもを安全で健やかに育てるための一環として、地域教育通信を年2回発行するとともに、地域におけるあいさつ運動や子どもたちの安心、安全の取組みとして「スクールガード」「子ども110番」「声かけ運動」など様々な活動の啓発、実践に努めていることは評価できる。
今後の課題・方針等について
子どもは学校・家庭・地域社会の中で育てられることから、これらが密接に連携、協力していく体制づくりが求められており、その意味で今後の課題、方針は評価できる。 また、市民の主体的な活動が期待される分野なので、生涯学習等とも関連させながら、それを支援する行政の新規事業の構築が期待される。

・村瀬委員長

それでは、市民との協働による生涯にわたる学習活動の支援について、各委員に意見を発表していただきたいと思います。

主な取組内容について

木村委員	・ 2つの継続の主要事業について、「プログラムバンク事業」の見直しや公民館講座の「いしかり市民カレッジ」との役割分担など課題が明確にされており評価できる。
田中委員	・ 市民カレッジは高齢者の評価も良く、企画者も民間人で高く評価できる。 ・ 出前講座も特に高齢者に関するものは身近なところで学習活動ができると好評価である。
村瀬委員	・ まちづくり出前講座や生涯学習の講座開催などの事業が継続的に行われていることは、市民の学ぶ機会の環境を整えることであり、評価できる。

今後の課題・方針等について

木村委員	・ 課題は上記のように明確になっているが、それをどのような具体的な方針として進めるかを明らかにすることが今後期待される。 ・ ほかの事業（たとえば「中学校体育連盟活動支援事業」での指導者の不足、「学校事業」でのSATの人材不足、「不登校児童生徒支援事業」に対応する人材不足など、いずれも人材の養成、活用が課題となっており、生涯学習と学校支援との結びつきなど事業間の関係・連携を見直しが期待される。
田中委員	・ 町内会、地区単位で生涯学習に関わる、あるいは幼児・児童の学習活動や事業ニュースがたくさんあるが、日を置かずその場限りで霧散するように思う。それらをすくい上げ、集め選択して地域に紹介し活用するネットワークを考えてみてはどうか。
村瀬委員	・ 市民団体やNPO法人、公的機関等との連携で体制整備を進めようとしている「いしかり市民カレッジ」は、生涯学習事業の核となるものといえることから、一層充実していくことが望まれる。 ・ 社会教育活動の積極的な展開を図るためには、中心となる施設は欠かせないと考えられることから、より充実した生涯学習推進の施設の整備が必要である。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

市民との協働による生涯にわたる学習活動の支援

主な取組内容について
市民カレッジは高齢者の評価も良く、企画者も民間人で高く評価できる。 出前講座も特に高齢者に関するものは身近なところで学習活動ができると高い評価を得ている。
今後の課題・方針等について
「中学校体育連盟活動支援事業」での指導者の不足、「学校支援事業」でのSATの人材不足、「不登校児童生徒支援事業」に対応する人材不足など、いずれも人材の養成、活用が課題となっており、生涯学習と学校支援との結びつきなど事業間の関係・連携の見直しが期待される。 また、町内会、地区単位で生涯学習に関わることや、幼児・児童生徒の学習活動に関する情報等がたくさんあるので、地域に紹介し活用するネットワークなどを期待したい。

・村瀬委員長

それでは、生涯学習の拠点としての市民図書館について、各委員に意見を発表していただきたいと思えます。

主な取組内容について

木村委員	<ul style="list-style-type: none">・読書・学習支援事業等に図書館の積極的な取り組みがうかがわれ評価できる。・子どもの読書推進事業などでボランティアとの協働がすすんでいることなど今後のさらなる発展が期待できる。
田中委員	-
村瀬委員	<ul style="list-style-type: none">・生涯学習の情報の拠点として市民図書館が行っている図書館講座や講演会、図書館祭り等は、市民ニーズに積極的に応える取組みとして高く評価できる。・高齢化社会の急激な進展に伴い、石狩市民活動情報センターとの協働による図書サービス等が継続的に行われていることは、今後ますます高まっていくと考えられる市民の生涯学習の要望に応える事業として評価できる。・将来の石狩市を担う子どもたちへの読書活動の推進は極めて重要であり、幼児・児童生徒への啓発活動の継続は評価できる。

今後の課題・方針等について

木村委員	<ul style="list-style-type: none">・ボランティアとの協働やボランティアの養成について、市内の他の施設や社会教育事業との連携をさらにすすめることが今後望まれる。
田中委員	-
村瀬委員	<ul style="list-style-type: none">・市民図書館が生涯学習や地域文化の創造、郷土理解の拠点として、今後ますます重要性が高まると考えられることから、地域の教育力を高める意味においてもその一層の充実が望まれる。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

生涯学習の拠点としての市民図書館

主な取組内容について

生涯学習の情報の拠点として市民図書館が行っている図書館講座や講演会、図書館祭り等は、市民ニーズに積極的に応える取組みとして高く評価できる。
また、子どもの読書推進事業などでボランティアとの協働がすすんでいることなど今後のさらなる発展が期待できる。

今後の課題・方針等について

ボランティアとの協働や養成について、市内の他の施設や社会教育事業との連携をさらにすすめることが今後望まれる。

・村瀬委員長

それでは、豊かな心や感性を育む石狩文化の創造について、各委員に意見を発表していただきたいと思います。

主な取組内容について

木村委員	・厚田・浜益の郷土資料室に関わる事業について、施設のリニューアルや展示の見直しなどの課題を明確にしており評価できる。
田中委員	-
村瀬委員	・豊かな心や感性を育むためには、大きく分けてこれまで築いてきた伝統的な活動と市民が自主的、主体的に行う創造的な活動の2つの視点が重要である。その観点から前者は石狩市の自然、歴史、文化に関する博物館資料の収集、保存、調査研究やいしかり砂丘の風資料館の事業、厚田区・浜益区の文化財の目録化などの取組み、後者は中学校の文化活動の向上、市民の芸術文化活動、地域の文化活動の振興、活動する文化団体への支援など、文化に関わる多彩な活動は評価できる。

今後の課題・方針等について

木村委員	・厚田・浜益の施設の運営に関わる職員の配置、専門性の確保、支援するボランティアなどマンパワーの問題をどう解決すべきかを明確にすることが課題となっている。市民の学習にもとづく参加と協働が期待される。
田中委員	-
村瀬委員	・今後の石狩市の文化の創造には、文化・伝統を継承するための情報発信する活動や保存・展示などを学ぶ機会の充実とともに、新たな地域文化の創造を目指した環境づくり、市民の交流の拡大などの取組みが必要であり、これら文化活動の人間形成に果たす役割の重要性を市民に啓発し、事業の拡大、推進が望まれる。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

豊かな心や感性を育む石狩文化の創造

主な取組内容について
厚田・浜益の郷土資料室に関わる事業について、施設のリニューアルや展示の見直しなどの課題を明確にしており評価できる。 また、自主的、主体的に行う創造的な活動など文化に関わる多彩な活動は評価できる。
今後の課題・方針等について
厚田・浜益の施設の運営に関わる職員の配置、専門性の確保、支援するボランティアなどマンパワーの問題をどう解決すべきかを明確にすることが課題となっている。市民の学習にもとづく参加と協働が期待される。

・村瀬委員長

最後になりますが、全体を通してどうでしょうか。

・木村委員

やはり、財政が厳しくなってくると、たくさんお金がかかることが、なかなか進めるのが大変だということですよ。

それと、行政だけではやれなくて、色々なところで市民の方が参加して協働するということが求められているのだけれども、それをどう育てていくかということが課題となっていること。

生涯学習というのは、浜益・厚田の問題も含めて、全体としては不十分であるので、そこをおそらく浜益・厚田を地域としてどうやって育てていくかということも含めて、考えていくことが大事になってくる。

そうすると、多分、教育委員会というのは、どうしても学校教育委員会となりがちなので、例えば、社会教育委員と年1回くらい教育委員の方が交流するとか、市民の声を聞くということに含まれていると思いますが、そういうことが大事なのではないでしょうか。

・村瀬委員長

私も話をお聞きして、やはりもっと広く市民の方々の参加があるというか、もっと知らせてという話も先ほどあったとは思いますが、インターネットでも進んでいますので、こんなことをやっていますよ、助けてくれないだろうかという声かけをしていって、人材発掘に繋げていくと。

学校教育のほう教育委員会では意外と主に思っているかも知れないけど、そうでもないよと。こういう市民の力を掘り起こすことも教育委員会の仕事だよと、そういうことじゃないかと思えますね。

あと、全体を通して何かありますでしょうか。

(なし)

それでは、これをもちまして議事を終了させていただきます。

ありがとうございました。

(1 1 : 3 5 終了)

平成 2 2 年 1 月 2 9 日会議録確定

石狩市教育委員会外部評価委員会
副委員長 田 中 好 之